Interview

理事長にインタビュー

理事長
中井（なかい） 正徳（まさのり） 先生

「治療が完了した時の『美しさ』を感じることが、より高いレベルの治療を目指す原動力に。」

大阪府堺市の「 医療法人佑絢会 C&Cナカイデンタルクリニック」は、中井正徳先生が“健康をサポートするクリニック”を目指し、1998年に開院された歯科クリニック。こちらのクリニックでは、各科専門性を持つ歯科医師によるチーム医療で診療を行っておられます。
今回は理事長である中井先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。



印象的なのは「もっと早くやっておけば良かった」という言葉

―― まずは初めの質問ですが、中井先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

インプラント治療には**“隣の歯を削らない”“入れ歯の煩わしさから解放される”などの大きなメリット**がありますが、**私が重視するのは、噛み合わせを維持し、お口の健康を保つこと**です。なぜなら、噛み合わせが崩壊してしまうと老化そのものに繋がるからです。



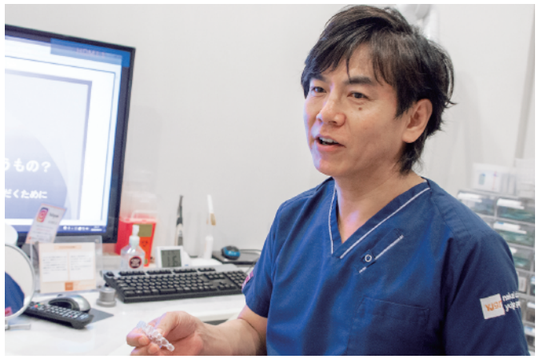
例えば、1本天然歯が抜けたところをインプラントで補った場合、インプラントは将来の噛み合わせの崩壊を予防することが出来ます。

また、既に崩壊した噛み合わせをインプラントで再構築した場合でも、口元の改善が期待出来ます。見た目も若々しくなり、内面も本当に元気になられますね。**お口の機能や健康の維持にインプラントは大きな一助**になります。

―― では、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

多くの喜びのお声を頂いておりますが、その中でも**印象的なのは「もっと早くやっておけば良かった」という言葉**です。食べ辛さや見た目などで長年お悩みだった方がおっしゃるお言葉です。

インプラント治療前と治療後に分かれる人生。インプラントの恩恵を受ける人生を長く過ごしていただきたいです。



―― 皆さん、切実な想いからそのような言葉が出てくるのでしょうね。

そのように満足度の高いインプラントですが、やはり「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

インプラントはレントゲンでは実物より大きく見えてしまいますので、恐怖心の強い患者様にはインプラント体の実物を見て頂きます。よく使用する直径4mm長さ8.5mmのインプラントは想像より小さく、患者様に**実際のインプラントを手に取って見ていただくと、皆さん安心されます。**

また麻酔医による全身管理下での静脈鎮静法※を選択していただければ、ほとんど眠った状態で治療を終える事ができ、治療を受けたことも覚えていないほどです。

※眠くなりますが、意識がなくならず、自分自身で普段通りに呼吸ができ、呼びかけや刺激に対して反応可能な麻酔です。

一番の強みは数々の難症例を経験していること

―― ところで、中井先生は常に進化するインプラントの最先端技術や知識をどのように習得していらっしゃいますか？

インプラント治療の知識と技術の修得のため、国内外の学会や研修等に参加し、常に研鑽を積んでおります。日本口腔インプラント学会にも所属していますので、そこでは常に知識・技術のアップデートが図られます。

その他、いくつかのスタディグループにも所属し、症例発表などの活動や、欧米の大学や研修施設に赴き、著名な歯科医師の治療技術を学んでおります。

―― では、患者様とコミュニケーションをとる上で心掛けている点はどういうところでしょうか？

十分な説明を行い、患者様がご納得の上で治療をさせていただくことは、私達医療人の義務だと思います。この『説明』にも様々なレベルがあり、**私が心掛けているのは視覚（CT画像や模型など）で分かりやすく説明をさせていただくこと**です。

また最も注力していることは、過去の数ある症例の中からその患者様に似た症例の口腔内写真やレントゲン像を見ていただき、自分がどのように変わるのか、未来像を持っていただけるようにしていることですね。

―― それでは、中井先生。ずばり！お聞きしますがクリニックの強みはどこでしょうか？

当院には、**様々な難しいとされるインプラント手術に対応する最先端設備を整えたインプラント専用手術室があり**ます。また、その最先端設備である口腔内スキャナやサージカルガイド※を用いることで、より安心かつ安全なインプラント治療を実現することが出来ます。そのように設備の充実はもちろんですが、**一番の強みはやはり、私自身長年インプラント治療に携わっており、数々の難症例を経験していること**です。当院の最先端設備もその経験値があることで、しっかり実用できると考えます。

※サージカルガイドとは、インプラント手術の際に使用する装置で、インプラントの埋入位置や角度、深さをガイドします。

―― 最後に一つお伺いします。中井先生にとって、この仕事の喜びとは何でしょうか？

やはり一番は患者様に喜んでいただくことです。それに加えて治療が完了した時の「美しさ」を感じることです。インプラント体と上部構造が高い精度で締結される様子、天然歯との調和、レントゲン像で整然と並ぶインプラント体、一つの美しい作品をつくりあげたときの喜びです。これが私がより高いレベルの治療を目指す原動力になっていることは間違いありません。

先にも述べましたが、長年悩まれていた患者様から「こんなに良くなるんだったらもっと早く治療するんだったわぁ」と聞くと、喜びを噛み締めると同時に、「もっと早くに正しい情報を届けられなかったか」と少し残念な気持ちにもなり、正しい情報を伝えることの重要さを感じます。